

0. 研究に対するスタンス

反応制御科学研究室は、有機合成化学を極める研究に特化した研究室です。新しい有機合成反応や合成技術の開発、新しい機能性有機物質の合成を研究対象としています。

有機合成化学とは、如何にして欲しいもの(様々な機能を持った有機物質)を無駄なく合成するかを研究する学問です。反応や技術の開発においても対象物質の合成においても、“**反応すればそれでいい、合成できればそれでいい**”のではなく、“**期待する反応だけを進行させる、合成したいものだけを合成する**”ことを常に目指しています。

また、**流行りの研究領域に参入するのではなく、“自分たちで畑を耕し、種を蒔き、発芽させる”**というスタンスの下で研究を進めています。分かり易い例を挙げると、有機合成反応の開発研究では、他人の開発した反応の改良は行いません。類似品には手を出しません。研究室オリジナルの有機合成反応・技術、研究室オリジナルの機能性物質を生み出すために日々研究に邁進しております。

卒業してからどのような研究開発に携わったとしても困らない、幅広い知識、技術、考え方を学生の皆さんに研究を通して少しでも身につけてもらいたいと思っています。研究室での生活を通じて、将来化学産業に携わるであろう学生の皆さんと一緒に、“**生みの苦しみ**”に苦勞するとともに、“**達成の喜び**”を経験したいと考えています。

反応制御科学研究室
准教授 森本 積